

秋サケ回帰情報（No. 1:前期分）



令和 7 年 11 月 26 日
岩手県水産技術センター
漁業資源部（及川）
TEL：0193（26）7915
FAX：0193（26）7920
e-mail：CE0012@pref.iwate.jp

ートピックスー

- ◎ 11月10日までの回帰尾数※は、前年比 65.4% の 0.7 万尾。
- ◎ 4 歳魚を中心とした年齢構成で、魚体は、前年と同様に小型の傾向。

※速報値（県庁水産振興課 秋さけ漁獲速報より）

1. 回帰資源量

11月10日現在の回帰尾数は 0.7 万尾（16 トン）で前年比 65.4%（重量比 60.5%）。内訳をみると、沿岸漁獲は前年比 72.3%（3.6 千尾）、河川漁獲は前年比 58.9%（3.2 千尾）。種卵確保対策による海産親魚は 73 尾となっています。河川漁獲の割合は 46.9% と前年（51.5%）と同程度でした。また、当センターが発表した 11 月 10 日までの回帰予測尾数は 1.9 万尾であり、実績は予測の 36.8% となっています（図 1）。

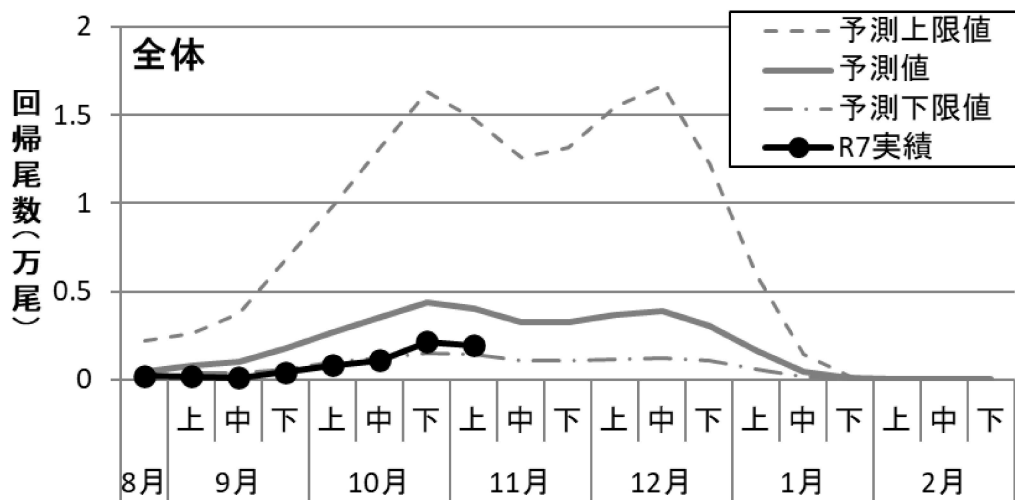


図 1 岩手県の回帰尾数の旬別推移

2. 回帰親魚調査結果（前期：11月10日までの分）

津軽石川において、ふ化場の協力を得て回帰親魚調査（210尾（近隣河川含む））を行いました。なお、例年調査を実施していた片岸川及び織笠川については、10月31日夜間の豪雨被害により、調査を実施することができませんでした。

（1）年齢組成

津軽石川

オスは3歳魚16.9%、4歳魚83.1%、5歳魚0%（R6：3歳魚63%、4歳魚31%、5歳魚6%）、メスは3歳魚21.8%、4歳魚78.2%、5歳魚0%（R6：65%、4歳魚32%、5歳魚3%）で、前年同期と比べるとオスメスともに4歳魚の割合が高くなり、3歳魚の割合が低くなりました。5歳魚以上の回帰はありませんでした（図2）。

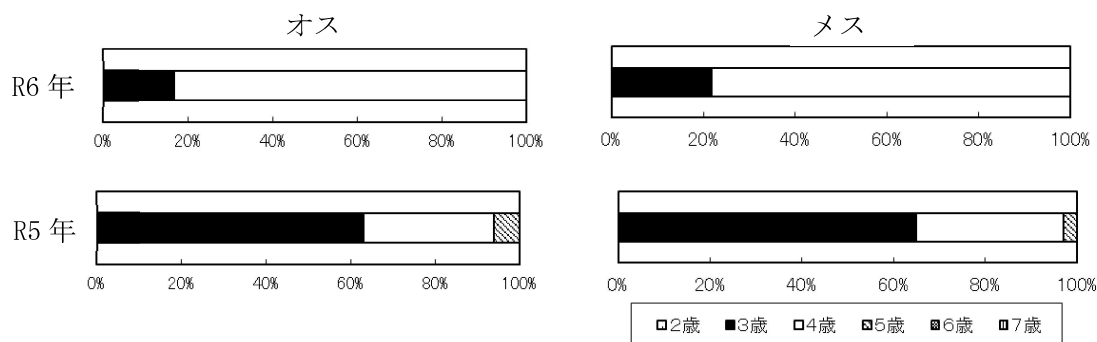


図2 津軽石川雌雄別年齢組成

年齢査定の結果に河川回帰尾数（R7：189尾、R6：210尾）を乗じて算出した年齢別回帰尾数を見ると、3歳魚は前年の28%、4歳魚は前年の2.3倍となっています（図3）。

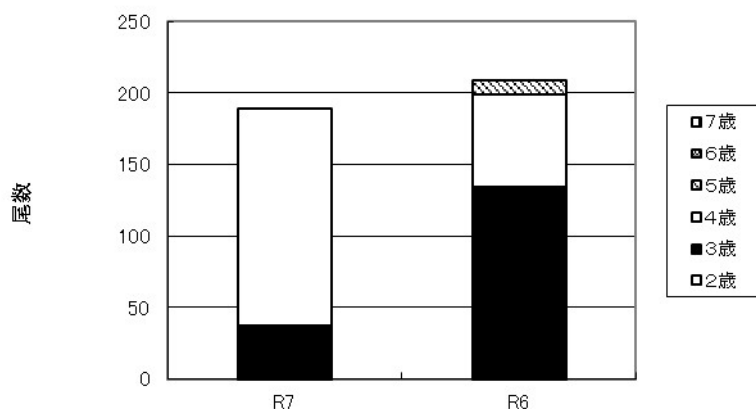


図3 津軽石川年齢別回帰尾数

(2) 年齢別尾叉長、体重、肥満度

津軽石川

魚体測定の結果、オスの平均尾叉長は 65.2cm、体重は 2.6kg、肥満度は 9.2、また、メスは 62.1cm、2.4kg、10.0 でした。前年同期と比較すると、オスでは 3 歳魚の尾叉長のみ前年を上回りましたが、それ以外は前年を下回る傾向、メスでは 3 歳魚で尾叉長、体重、肥満度が前年を上回り、4 歳魚では前年を下回る傾向でした（表 1）。全体の平均はオスの肥満度を除き前年を上回りました。

表 1 津軽石川年齢別尾叉長・体重・肥満度

(オス)

	尾叉長 (cm)		体 重 (kg)		肥満度	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6
3歳魚	60.8	60.6	2.0	2.1	8.9	9.5
4歳魚	66.1	67.3	2.7	3.1	9.2	10.1
5歳魚	—	68.0	—	3.0	—	9.6
全体平均	65.2	63.2	2.6	2.5	9.2	9.7

(メス)

	尾叉長 (cm)		体 重 (kg)		肥満度	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6
3歳魚	59.3	58.4	2.1	2.0	9.8	9.7
4歳魚	62.9	65.3	2.5	2.8	10.1	10.2
5歳魚	—	68.6	—	3.1	—	9.4
全体平均	62.1	60.9	2.4	2.3	10.0	9.9

3. その他

令和 7 年 11 月 10 日現在の秋サケ回帰状況は、きわめて低調だった昨年を下回り、予測下限値近くを推移しています。一方、水温の低下とともに、沿岸漁獲が予測値を上回ってきています。

近年、5 歳魚以上の回帰尾数が少なくなり、3 歳魚と 4 歳魚を中心とした回帰で、魚体の平均サイズが小さくなる傾向にあります。漁獲の主体である令和 3 年級（4 歳魚）の放流数は 5 千 3 百万尾と前年級（2 億 3 千 2 百万尾）より少なくなりましたが、回帰率で比較すると、令和 3 年級が上回る傾向であることから、大型で強い稚魚を放流することが重要であると考えられます。